

ページ	質問議員	質問事項
11	五味雅美	● 町内介護施設について ● 路線バスの利便性向上を ● 小学校の教材の充実を ● 放課後子ども教室について
12	藤原義春	● 伊奈町総合振興計画の土地利用構想について ● 企業誘致について ● 「お年寄り世帯見守りたい」について ● 福祉の総合事業について ● 伊奈町の農業の担い手の確保について
12	上野尚徳	● 町の財政は健全に推移しているか ● 圏央道を活用した町興しについて ● フィルムコミッションについて ● 伊奈町の消防・救急について
13	大沢 淳	● 町長タウンミーティングを開催して ● 職員の時間外勤務縮減に向けて ● ニューシャトル駅にホームドアの設置を ● 国保財政の都道府県単位化と町の国民健康保険
13	上野克也	● 高齢者のドライバーについて ● 空き地（田畑含む）等の、対策について ● 彩の国あんしんセーフティネット事業について ● 学校および公共施設のLED化について ● 町長タウンミーティングについて
14	奥田とみ子	● 居住支援に空き家活用 ● 南部大公園の土埃対策
14	栗原恵子	● 町長の福祉政策について ● 地域コミュニティ構築について ● 伊奈町内循環バス「いなまる」について ● 防災対策について ● 新年度予算案について
15	中原敦子	● 「赤ちゃんの駅」の充実を ● 「子ども110番の家」について
15	水上邦雄	● 放射能対策について ● 原発ゼロを目指して ● 太陽光発電の利活用について ● 丸山駅周辺の道路整備を ● 65歳超雇用継続助成金について ● 学校給食費の無償化について ● 高額抗がん剤オプジーボの保険適用について
16	齋藤照夫	● 放置されている空き地の環境保全について
16	戸張光枝	● 通級指導教室について ● 読書通帳について



11人が登壇

3月定例議会は、11人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。（5月下旬掲載）



伊奈町議会

検索

路線バスの利便性向上を



五味雅美 議員

問 高齢者が車を運転しなくても暮らせるために地域公共交通は欠かせない。厳しい事業の維持と利便性向上のために、住民・利用者参加で支える仕組みが必要で、事業者と話し合う場を。

答 運行事業者等とは必要に応じて過去3回協議しており、公募ではないが住民・利用者も加わっている。町には現在2社・6路線が運行。4月から桶川駅東口―伊奈学園路線が開始の予定。

問 介護報酬引き下げの
介護施設の実態把握を

答 「wakku楽体験教室」を実施しているが、学校への負担を考えるとこれ以上むずかしい。

問 小学校低学年児童の通学安全のために、教材の学校備品の充実を。

答 相当の数、衛生管理、保管場所等むずかしい。持ち帰り方に配慮する。



地域公共交通の利便性向上に、住民参加のしくみを

福祉の総合事業とスポーツ団体！



ふじはら よしはる
藤原義春 議員

問 今年の4月から始まる福祉の総合事業に、スポーツ団体の元気な高齢者にボランティアとして参加してもらおうよう、アピールしたらどうか。

答 スポーツをしている人を含め、元気な高齢者の方に、福祉事業のボランティア



地域活性化エリアの
志久駅周辺と日本薬科大学

りが行えるのか。

答 民生委員を含め、多くの人がお年寄り世帯をきめ細かく見守り、民生委員の負担も軽減することになる。

伊奈町の税収入を増やすために、企業誘致をどうするか

問 伊奈町の税収入を増やすために、企業誘致をどう取り組むか。

答 伊奈町としては、埼玉県企業立地課に、交通便利性の高さをセールスポイントにした候補地を提示し、先端産業などの優良企業を紹介するようお願いしている。

志久駅周辺の地域活性化エリアの開発

問 志久駅周辺の学生の購買力を利用した開発をすべきでは。

答 桜並木等の周辺の緑地環境に配慮した上で、志久駅周辺の活用を図る。

財政の分析・健全化で明るい未来の伊奈町を創る



うえの なおのり
上野尚徳 議員

問 町の貯金である基金等の推移は。

答 財政調整基金は6億円↓3億2千万円。基金全体は9億2千万円↓4億6千万へ減少(5年間)

問 将来の財政負担が懸念。借入金等の状況は。

答 実質公債費比率・県



圏央道の活用は、町の新たな可能性を生み、未来を創る

で下から4番目。将来負担比率・下から11番目。

問 健全化への対策は。

答 補助金の活用、歳入確保。経費削減に取組む。基金積み立ても行いたい。

圏央道・茨城区間開通

問 成田空港・首都圏への安定アクセスを武器に、国内・海外の企業誘致を。

答 税収、雇用等利点が多い。土地が無い状況等、県に協力頂き、進めたい。

問 他市町村と連携した観光誘致を。

答 つくばみらい市等と連携し観光PRを進める映画・テレビ等で町の魅力発信。町の活性化を。

問 フィルムコミッションの成果・現況は。

答 映画、TV 64件の照会。ドラマ等8件の撮影。

問 撮影場所決定者に直接会つての誘致活動を。

答 関係機関と連携し撮影される検討を進める。

町民の命と財産を守る消防救急 人材不足が懸念

問 消防職53人中24人が50歳以上。条例改正・定数増加し増強を。

答 育成に最低2年。H30年度には条例定数の増加が必要。救急需要の増加。計画的な増に努める。

ホームドアの設置を



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

問 他の新交通システム
の状況は。

答 ゆりかもめ、日暮里・
舎人ライナーなどには設
置済み。

問 ニューシャトル駅に
設置を。

答 1駅で億単位の費用
がかかる。費用の軽減化

に注視したい。

町長タウンミーティング

問 町長の感想は。

答 行政は住民の声を聞
くことが一番大事。たく
さんの素晴らしいご意見
ご提案をいただいた。皆

様の思いをしっかりと受
け止め、これからのまち



多発している転落事故を防ぐために、
シャトル駅にもホームドアを

づくりに活用したい。

職員の時間外勤務縮減

問 最も多い職員は。

答 年間848時間。

問 必要な人員配置と業
務改善を。

答 人員配置は可能な限
り対応したい。事務改善
は各部署が考え行動する
ことでつなげていける。

国保の都道府県化

問 国保税の引き上げに
つながらないよう、一般
会計からの法定外繰り入
れを継続すること。

答 これまで国保税の負
担を抑えるため繰り入れ
てきた。これを早急に解
消することは難しい。

問 国保税の減免規定の
制度化を。

答 他の自治体では、収
入の基準や申請に必要な
書類などの明確な基準を
定め、周知している状況
もあるので、今後検討を
すすめたい。

高齢者のドライバーについて



うえの こくや
上野 克也 議員

問 交通死亡事故全体の
数は減る一方、高齢ドラ
イバーによる事故の割合
は増え続けている。伊奈
町の事故状況や講習など
の取り組み等は。

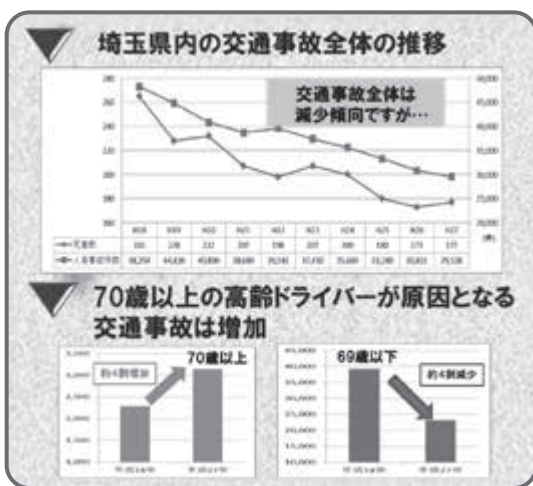
答 交通事故数は、65―69
歳が12件、70―74歳が17
件、75―79歳が7件、80

歳が12件、70―74歳が17
件、75―79歳が7件、80

歳以上が2件で計38件。
高齢者の事故割合は伊奈
町では2割を占めている。
県による「高齢者安全運
転プロジェクト等」を活
用し事故防止を進める。

空き地等の対策について
問 空き地の雑草で、近
隣や交通に迷惑をかけて

隣や交通に迷惑をかけて



平成18年から27年までの
県内交通事故

いる場合の、苦情の対応
や周知および、適正に管
理する条例などの整備は。

答 広報にて適正な管理
の本意が伝わるよう工夫
をして周知する。対応し
ない所有者には条例に基
づく勧告等による、お願
いや土地の有効活用を促
す。条例も制定後45年経
過しているので時代に合
ったように見直しをする。

**彩の国あしんせーふテ
ィネット事業**
問 この事業は、失業・
虐待・DV・けがや病気等
が原因で生活に困ってい
る人たちに、訪問や相談
を通して必要な制度につ
なぐ活動を行うもの。伊奈
町の考えおよび社協は。

答 町としては貴重な事
業と認識している。社協
については来年度加入を
する方向で検討する。

※他に、2項目の質問を
しました。計5項目です。

13 いな市 議会だより No.175

住宅確保困難者の居住支援に空き家活用を



おくだ
奥田とみこ 議員

問 2月3日政府は、「住宅セーフティネット法」の改正案を閣議決定した。高齢者、低所得者、障害者、子育て世帯など住宅確保が困難な世帯に、空き家を賃貸住宅として、優先的に供給する内容。自治体や不動産関係団体

NPO法人が連携して、円滑な入居を施すための協議会の設立が重要。町として、協議会を設立することは可能か。

答 町は「埼玉県住まい安心支援ネットワーク」に入会している。県の情報を関係各課と共有し、

有効活用していく。

問 家賃や住民税の滞納を生活困窮のサインとして、料金徴収部門と相談窓口が連携して、新たな困窮者の把握につなげていく取り組みはできないか。

答 納税相談の際、生活困窮や居住支援の必要がある場合、福祉課で状況に応じた支援をしている。今後と同様に対応していく。

南部大公園の土埃対策

問 多目的に活用され、

洪水対策も備えた多くの町民に親しまれている公園だが、強風時の土埃対策が改善されない。周辺住民や利用者から一層の防砂対策が求められている。土埃・砂埃に最も有効な表層材「ヘルシーグリーン」の導入は考えられないか。

答 検討していく。



町民に親しまれる南部大公園、土埃対策が急がれます！

町内循環バス「いなまる」の今後は



くりばらけいこ
栗原恵子 議員

いなまるアンケート調査

問 運行本数の増便や運行ルートの見直し等変更すべきと思うが。

答 いなまる利用者の現状の運行サービスに関する意見は、行き先や他の交通機関との乗り継ぎにおいては比較的満足。運

行の本数や時間帯においては、改善を求める意見が多く、今後の町内循環バス「いなまる」の運行形態について見直すための基礎資料とする。

町長の3福祉政策

問 「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童福祉」政策



町民のためになる運行の確保を!!

に対する町長の基本姿勢は。

答 高齢者福祉・健康づくり事業や医療検診、介護予防事業に取り組み高齢者にやさしいまちづくりを進める。障害者福祉政策・差別解消法の普及啓発、相談支援事業の充実、施設のバリアフリー化などに取り組む。児童福祉・育児や子育てに不安な保護者への相談や見守りなどに取り組み、安心して子育てできるまちづくりを進める。

問 新年度予算案と町長公約との整合性は図られているのか。

答 健康長寿教室、お年寄り世帯見守りたい、町長タウンミーティング実施、第2子以降の出産育児一時金引き上げ、医療費無料化の対象を高校生まで拡大するなど公約実現するための予算とした。

福島第一原発——一日も早い廃炉を



みずかみくに お
水上邦雄 議員

問 町内放射能測定の結果は。

答 年4回二人一組で約4時間かけて実施、測定の結果、国の基準を超えたところはない。

給食センター食材、水道水は不検出。町の測定器貸し出し制度で町内採

取の「ひらたけ」で微量のセシウムが検出された。

太陽光発電の活用を

問 道路灯や防犯灯の災害時の電源として、太陽光発電の活用を。

答 設置費用、蓄電池の耐用年数等課題が多い。費用対効果を検討してい



給食の放射線物質検査を毎日実施しています

く。

非核平和都市宣言を

問 日本は唯一の戦争被爆国。ビキニ環礁での被爆、原発事故を経験している。非核平和都市宣言の実施を。

答 福島第一原発で核管理の困難さが浮き彫りになったが、名称の変更は、現在のところ考えていない。

学校給食費の無償化を

問 町の平均年齢が高くなってきた。少子高齢化対策としても必要だ。

高額抗がん剤 オプジーボの保険適用について

問 自己負担の支払いが困難な被保険者に対する町の対応は。

答 一部負担金の減免や徴収猶予の適用もある。

「子ども110番の家」にマニュアルの配布を



なかはらあつこ
中原敦子 議員

「赤ちゃんの駅」の充実を

問 「赤ちゃんの駅」の中で、おむつ替えと授乳、両方できる施設はいくつあるか。

答 おむつ替えと授乳の両方できる施設は32箇所中8箇所である。

問 「赤ちゃんの駅」を増

やす方法は、業者自らが県へ登録する以外に何か行っているか。

答 現段階では、町が各事業者に登録の勧奨は行っていないが、今後は町商工会にも協力をあおぎ、「赤ちゃんの駅」の周知に努めていきたい。

「子ども110番の家」について

問 現在伊奈町で「子ども110番の家」に登録している家庭・事業所・店舗等は何軒あるか。

答 登録している軒数は260軒となっている。

問 子どもを保護した場合に、「子ども110番の家」では大切な役割がある。全ての「子ども110番の家」にマニュアルを配布すべきではないか。

答 各小・中学校のPTA及び商店街連合会を通じて、協力者にマニュアルを配布し、趣旨と役割の周知に努めていく。

問 現在、町のホームページに「子ども110番の家」の記載がないが何故か。

答 今後ホームページにアップしていきたい。



「子ども110番の家」は、子ども達の安全を願い、いつも見守っています

空き地の環境保全について



さいとうてるお
齋藤照夫 議員

放置されている空き地の環境対策について

問 放置が原因で火災や人的な被害が出た場合、町の対処方法は。

答 土地の管理は基本的には土地所有者が行うものである。しかし適正な管理が行われない場合は、

町として適正に管理するよう指導している。

問 過去に空き地の所有や管理者などに、指導や勧告をした実績はあるか。

答 相談を受けた際の対応については、現場を確認し、適正な管理については通知にてお願いをし



道路にはみ出す民地からの雑草

ている。

問 町全体を定期的にパトロールをする町職員を配備してはどうか。

答 町では、農地については産業振興課、その他の宅地等については環境対策課によりパトロールを実施している。また消防署に情報を提供しパトロールをしている。

条例の一部改正は

問 今の条例を一部改正して、さらに強制力のあ

る条例に改正する考えはあるのか。
答 当町の条例は、適正に管理されない所有者に対し、文書による勧告や命令を出せる事になっている。現段階では条例の変更は考えていない。

通級指導について切れ目のない支援を



とばりみつえ
戸張光枝 議員

問 今回の法改正において「誰もが教育を受けられる環境」を目指す一環として、発達障害のある児童・生徒が別室に集まり授業を受ける「通級指導」などを担う教職員数が基礎定数化になるとあるが具体的には。

答 通級指導教室、対象児童生徒13人につき担当教員を一人とする教職員の基礎定数化を始めるために改正法案が通常国会に提出される報道は確認している。定数の算定基準となる対象児童生徒数の下限の有無、算定基準



借りた本の履歴を残せる「本の通帳」
一生の宝物になります

日など不透明な部分も多く今後、国や県の動向を注視し判断していく。

問 習熟度別学習は全ての中学校でやっているか。

答 現在、伊奈中学校で実施。小針中学校と南中学校では少人数指導やチームティーチングを実施。毎年加配教員の数や学校学年・生徒の実態により有効、適切なもの、実施可能なものを各学校が判断し実施。今後もそれらを充実していく。

心の成長期に読書に親しむ環境を推進

問 読書をより楽しくするための「本の通帳」周知の仕方に力をいれ手軽に利用しやすくするべき。

答 よりわかりやすく揭示する。シール発行機の設置場所も検討改善する。
問 移動図書館でもシール発行できるのか。

答 現在は図書館のみ。